

## 第26回議会改革検討協議会 議事録（要点筆記）

【日時】平成29年8月3日(木)午後3時開会

【委員】溝口委員長、林副委員長、池辺委員、貫野委員、野田委員、森下委員、草刈委員、村岡議長

【職員】櫻井事務局長、里見次長、近藤課長補佐 日出山係長、

〔協議事項〕

### 1. 申し合わせ事項の見直しについて

#### ① 議会諸役員の任期について

○任期2年。

○正副議長2年は可、常任委員会、特別委員会、派遣先については1年で2年という考え方にするのであればその根拠も合わせて知りたい。

○2年で了解だがそうするのであれば議長公約も必要。

○2年で実施しているところを調査してみてもどうか。

○正副議長は2年で、常任委員会、特別委員会、派遣先1年の考え方は？

○常任委員会については1年交代とするよりはより理解が深まる

会派に持ち帰り、次回検討。

案1. 正副議長2年、常任委員会、特別委員会、派遣先1年

案2. 正副議長、常任委員会2年、特別委員会、派遣先1年

#### ② 予算・決算審査特別委員会委員の選出基準について

予算審査の選出基準に合わせた申し合わせで決定。

次の予算に繋いでいくための決算審査にしていくことを目的にする。

今年の決算の選出基準に反映されるかは、議運での結果次第になる。

#### ③ 会派に属さない議員について

予算・決算審査特別委員会の選出についての申し合わせについて

○予算決算のみというのではなく、他委員会（議運等）も出ることができるようになればどうか？

ただし、4月スタートを遵守するなどの条件を付ける。

○新年度当初に予算なのか決算なのかを申し入れるといいのではないか？その他の会議は傍聴も可能である。

○大前提として会派制度を中心に議会が回っていることから反対。

○予算決算で選ぶ。

○考えが違うものが会派を組むのもおかしいと考える事から、一人会派も議論の場に入ることも必要では。

出

- 議運で予算決算の運び方を提案している事と並行して一人会派の扱いを進めてほしい。
- 会派を大前提として決まっている。一人会派が多くなり、全ての人が  
てきてやると現実味がなく、議会運営に支障をきたすことになる。
- 一人会派代表者と考えればいいのではないか？  
一人一人が選挙で選ばれているのであれば一人会派も認めるべき。
- 議会全体で合意形成が図れるかという事が大事。  
そのために会派制度を引いている。
- 議会運営をスムーズにしていくための会派制度。  
予算と決算は市民からの信託を受けてきた責任のもとに出席できるようにすることが大事ではないか？
- 予算、決算については出席できるのは賛成。今後は状況を見て進め  
今の段階では全体での合意形成不可。  
そのことから予算決算の選出について見送りで決定。

④ 政務活動費でのクレジットカードの決済について

案文を読上げる。

- もう少し詳しく内容を入れ込んだものにしていく方がいいのでは。  
・各クレジット会社のポイント還元率に併せて二重ポイントが付く場合  
・「原則として～するが」を入れておく方がいいのかどうか次回持越し、  
内容再検討  
・事務局では政務活動費についての規則にはどのようなになっているのか。

⑤ その他の見直しについて

本日に提案できるものはない。

2、議会改革度調査の分析について

住民参加と機能強化、議会基本条例制定後の検証を行うことによ  
って住民参加と機能強化についても深めていけるのではないかと

- ・ **議会改革度調査2016を全委員で確認**

3、その他

(堺市議会視察について)

**10月5日14:00～16:00で申し入れする。**

**10月6日の午前を第2希望で入れておく。**

次回開催日

10月11日(水) 13:30～

次回検討課題

会派に持ち帰り、次回検討

① 議会諸役員の任期について

案1. 正副議長2年、常任委員会、特別委員会、派遣先1年

案2. 正副議長、常任委員会2年、特別委員会、派遣先1年

② 議運に提案していく。

③については合意形成不可で見送り

④ 政務活動費でのクレジットカードの決済について

- ・各クレジット会社のポイント還元率に併せてアマゾンや楽天ポイント等の二重ポイントの還元率の分かる資料調査→池辺担当
- ・「原則として～するが」を入れておく方がいいのかどうか次回持越し、内容再検討